第36期末(2024年4月1日)	
基準価額	13,319円
純資産総額	2,010百万円
騰落率	9.3%
分配金	0円

(注) 騰落率は収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

●当ファンドは、投資信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。右記弊社ホームページの「ファンド・ETF情報」、「投資信託」から当ファンドのファンド名を選択することにより、当ファンドの「運用報告書(全体版)」を閲覧およびダウンロードすることができます。

●「運用報告書(全体版)」は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

BlackRock

ブラックロック・ラテンアメリカ株式ファンド

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第36期(2024年4月1日決算)
作成対象期間(2023年10月3日～ 2024年4月1日)

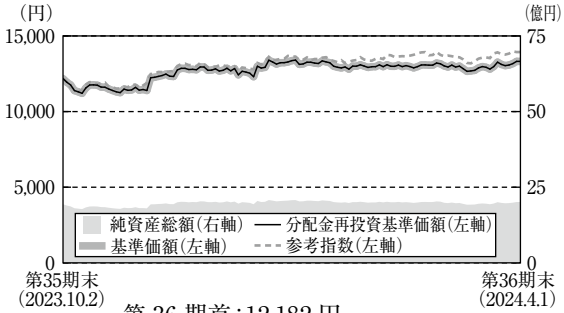
受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「ブラックロック・ラテンアメリカ株式ファンド」は、このたび、第36期の決算を行いました。
当ファンドは、ブラックロック・グループが運用する、「BGF ラテン・アメリカン・ファンド」および「BGF USダラー・ショート・デュレーション・ボンド・ファンド」への投資を通じて、主として、ラテンアメリカ諸国の株式(同地域において重要な事業展開を行っていると考えられる同地域以外の企業の株式を含みます。)に投資し、信託財産の中長期的な成長を目標に運用を行います。当期につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、当期の運用経過についてご報告いたします。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

ブラックロック・ジャパン株式会社
〒100-8217 東京都千代田区丸の内一丁目8番3号
丸の内トラストタワー本館
運用報告書に関するお問合わせ先
電話番号:03-6703-4300
(受付時間　営業日の9:00～17:00)
ホームページアドレス
www.blackrock.com/jp/

◇運用経過

■当期中の基準価額等の推移について（第36期：2023年10月3日～2024年4月1日）



第36期首：12,182円
第36期末：13,319円（既払分配金0円）
騰落率　　：9.3%（分配金再投資ベース）

＊分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
＊参考指数は、MSCI EM ラテン・アメリカ 10/40 インデックス（円換算ベース）です。詳細につきましては後記をご覧下さい。
＊分配金再投資基準価額および参考指数は、前期末の基準価額に合わせて指数化しています。

■基準価額の主な変動要因

当ファンドの基準価額は、9.3%上昇しました。当期「BGF ラテン・アメリカン・ファンド」が上昇したことに加え、「BGF ラテン・アメリカン・ファンド」は米ドル建てであるため、当期為替市場において円安が進行したことも基準価額上昇の要因となりました。

■主要投資対象ファンドの当期間中の騰落率

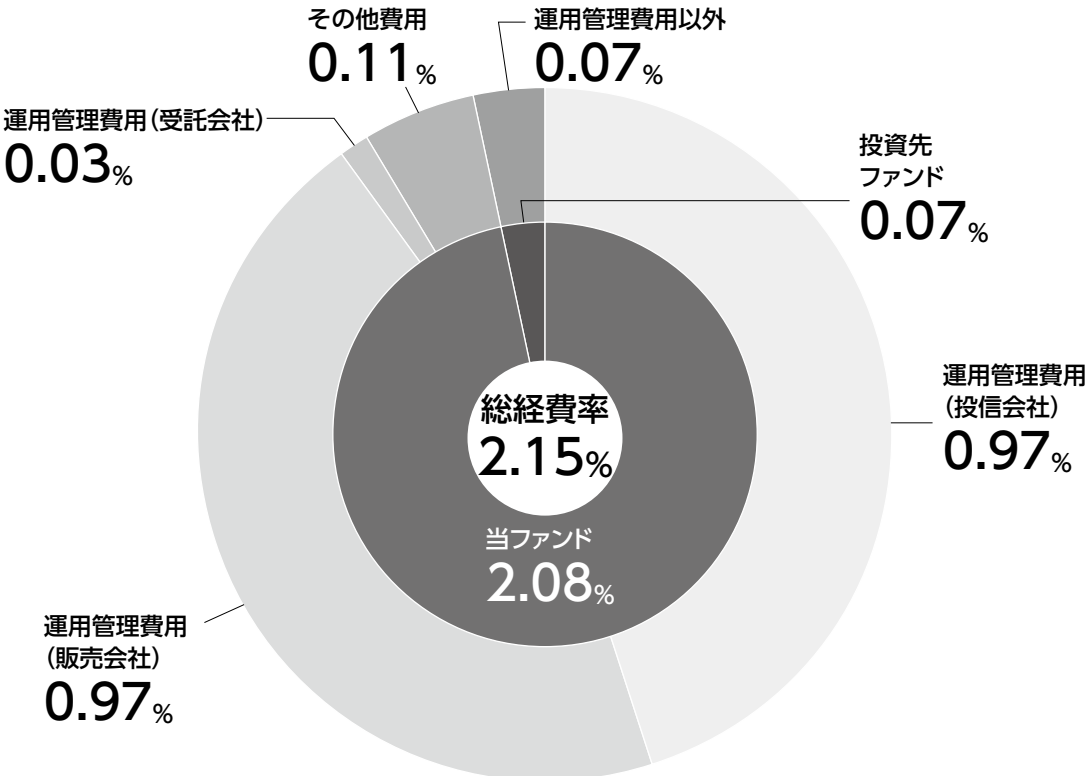
組入ファンド	騰落率
BGF　ラテン・アメリカン・ファンド	9.3%

■1万口当りの費用明細

項目	第36期（2023.10.3～2024.4.1）金額	比率	項目の概要
	円	%	
（a）信託報酬	124	0.979	信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は12,676円です。
（投信会社）	（61）	（0.481）	投信会社分は、委託した資金の運用の対価
（販売会社）	（61）	（0.481）	販売会社分は、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託銀行）	（2）	（0.016）	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
（b）売買委託手数料	－	－	売買委託手数料=期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（c）有価証券取引税	－	－	有価証券取引税=期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（d）その他費用	7	0.056	その他費用=期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	（0）	（0.001）	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（印刷費用・監査費用等）	（7）	（0.055）	目論見書および運用報告書の作成・印刷費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用等の諸費用
（その他）	（0）	（0.001）	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	131	1.036	

（注1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。
（注2）金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注3）比率欄は「1万口当りのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）
■総経費率

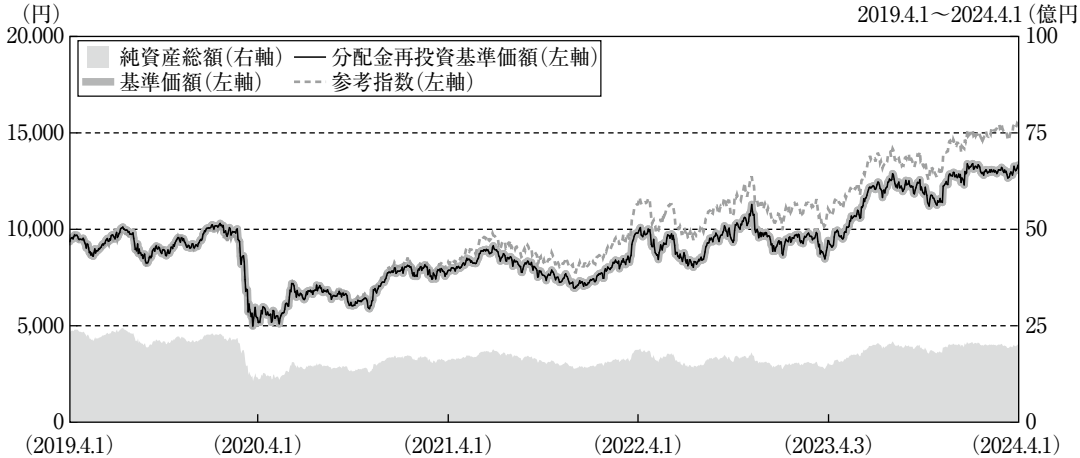


※当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.15%です。

総経費率（①+②+③）	2.15%
①当ファンドの費用の比率	2.08%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.00%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.07%

（注1）①の費用は、1 万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
（注3）各比率は、年率換算した値です。
（注4）投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券です。
（注5）①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
（注6）①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注7）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2019年4月1日の基準価額をもとに指数化したものです。
＊分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
＊分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

	2019年4月1日 期初	2020年4月1日 決算日	2021年4月1日 決算日	2022年4月1日 決算日	2023年4月3日 決算日	2024年4月1日 決算日
基準価額　(分配落)　(円)	9,357	5,409	7,868	9,813	9,390	13,319
期間分配金合計　(税込み)　(円)	－	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率　(%)	－	△42.2	45.5	24.7	△4.3	41.8
参考指数の騰落率　(%)	－	△42.6	54.6	36.2	△2.8	40.5
純資産総額　(百万円)	2,322	1,158	1,618	1,877	1,523	2,010

＊参考指数は、MSCI EM ラテン・アメリカ 10/40 インデックス(円換算ベース)です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。2022年6月29日に、当ファンドの主要投資対象ファンドである「BGF ラテン・アメリカン・ファンド」のベンチマークが「MSCI EM ラテン・アメリカ 10/40 インデックス」に変更されたことに伴い、当ファンドの参考指数を「MSCI EMラテン・アメリカ・インデックス(円換算ベース)」より「MSCI EM ラテン・アメリカ 10/40 インデックス(円換算ベース))」に変更しました。このため、参考指数のデータは、2022年6月28日までの期間は「MSCI EMラテン・アメリカ・インデックス(円換算ベース)」の指数値に基づき、2022年6月29日以降は「MSCI EM ラテン・アメリカ 10/40 インデックス(円換算ベース)」の指数値に基づき記載しています。
＊「MSCI EM ラテン・アメリカ 10/40 インデックス」および「MSCI EMラテン・アメリカ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発、計算した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。
また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

投資環境について

＜ラテンアメリカ株式市場＞

当期（2023年10月3日から2024年4月1日まで）、ラテンアメリカ株式市場は上昇しました。国別では、ペルー、コロンビアがアウトパフォームしました。ブラジルは2024年に入り、米国の利下げ期待の剥落が重石となりました。

＜米国債券市場＞

当期、米国の短期債利回りは、インフレの鈍化を示す経済指標の発表や米連邦公開市場委員会（FOMC）でハト派なコミュニケーションなどを背景としたFRB(米連邦準備制度理事会）による利下げ織り込みの拡大により、前期末比で低下しました。

ポートフォリオについて

当期、当ファンドは、主要投資対象である「BGF ラテン・アメリカン・ファンド」を高位に、「BGF USダラー・ショート・デュレーション・ボンド・ファンド」を低位に組入れた運用を行いました。

投資先ファンドにおける運用経過は以下の通りです。

＜BGF ラテン・アメリカン・ファンド＞

当期、メキシコのエクスポージャーに調整を加えました。建設的な見通しを維持しているものの、潜在的な米国の経済活動鈍化に対して相関が高いこと、相対的にパフォーマンスが好調であったことなどから一部銘柄について利益確定の売却を行いました。具体的には、大手銀行であるBanorteを削減し、スーパーマーケットのWalmart Mexicoの組入れを引き上げました。また、投資テーマの実現が見られたことや、コアビジネスであるコンビニエンスストアＯｘｘｏにおけるマージンの下押し圧力が見込まれるため、メキシコのコンビニエンスストア運営会社FEMSAを削減しました。ブラジルでは、建築会社・不動産会社であるCyrela Brazilを削減し、物流会社Ｒｕｍｏの組入れを引き上げました。また、利益確定のためPagseguroを売却しました。その他、銅生産会社First Quantum Mineralsを新たに組入れました。同社のコブレ・パナマの資産にかかる政治的リスクが緩和傾向にあり、運営の再開に向けた前向きな解決策を市場は過小評価していると考えています。アルゼンチンでは、鋼管メーカーのTenarisを売却しました。

主要投資対象ファンドのベンチマークと比較したパフォーマンス要因（運用状況）は以下の通りです。

（主なプラス要因）
- コロンビアの銀行であるBancolombiaの保有
- ブラジルのデジタル決済会社であるPagseguroの保有、ブラジルのデパートであるLojas Rennerの組入高位

（主なマイナス要因）
- ブラジルのヘルスケア・サービス・プロバイダーのHapvidaの組入高位
- チリのリチウム生産会社のSQM（Sociedad Quimica Y Minera De Chile）の保有

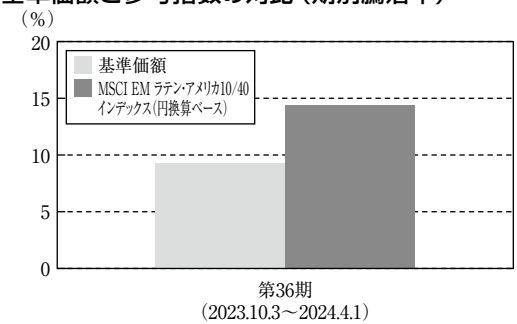
＜BGF USダラー・ショート・デュレーション・ボンド・ファンド＞

主に米ドル建ての短期の投資適格債に投資することで、トータル・リターンの最大化を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは、特定のベンチマークに連動する運用、あるいはそれを上回る運用を目指すものではありません。下記のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

■基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



分配金について

収益分配は基準価額水準、市場動向等を勘案して見送りとさせていただきました。留保益の運用につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項目		当期 2023年10月3日 ～2024年4月1日
当期分配金（税込み）		－円
	対基準価額比率	－％
	当期の収益	－円
	当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額		4,684

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。
また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
（注2）円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針について

引き続き主要投資対象ファンドである「BGF ラテン・アメリカン・ファンド」を高位に組入れる運用を行う方針です。

投資先ファンドにおける市場見通しおよび今後の運用方針は以下の通りです。

＜BGF ラテン・アメリカン・ファンド＞

引き続きラテンアメリカ市場について建設的に見ています。各国中央銀行はインフレ抑制のため積極的に利上げを実施したため、地域全体でインフレ率は大きく低下しています。足元では利下げを開始する中央銀行が見られ始めており、経済活動と資産価格双方の支援材料になるものと思われます。また、この地域全体が世界の地政学的紛争から相対的に離れていることも追い風となると考えます。これによって、海外からの直接投資及び当地域の投資家による資金配分共に増加する可能性が高いと見ています。

ブラジルはこれらの投資テーマの代表的事例であり、中央銀行は既に利下げを開始しています。政府の財政フレームワークが市場予想よりも一般性の高いものであったため、財政見通しに関する不透明感の縮小につながっており、市場に対するセンチメントを底支えしています。国内資本の株式市場への流入が始まることにより、当社では今後12～18ヵ月間において同株式市場の更なる上昇を予想しています。

メキシコ経済についても引き続き建設的に見ています。友好国へのグローバル・サプライチェーン移転によって、最も恩恵を受ける国だと考えられます。また、財政・経常収支の両方が健全であることから、経済ファンダメンタルズの面でのリスクは相対的に低いと考えています。

11月の大統領選で、リバタリアン（自由至上主義）で知られるハビエル・ミレイ氏が予想外に勝利したこと受けて、引き続きアルゼンチンの政治・経済状況を注視しています。ミレイ氏は、インフレ、外貨準備高の枯渇、また様々な経済的不均衡といった非常に難しい状況に直面しています。我々は直接現地の経済状況を把握するため1月にアルゼンチンを訪問しましたが、訪問を通じて同国経済に対する警戒的な見方を強めました。

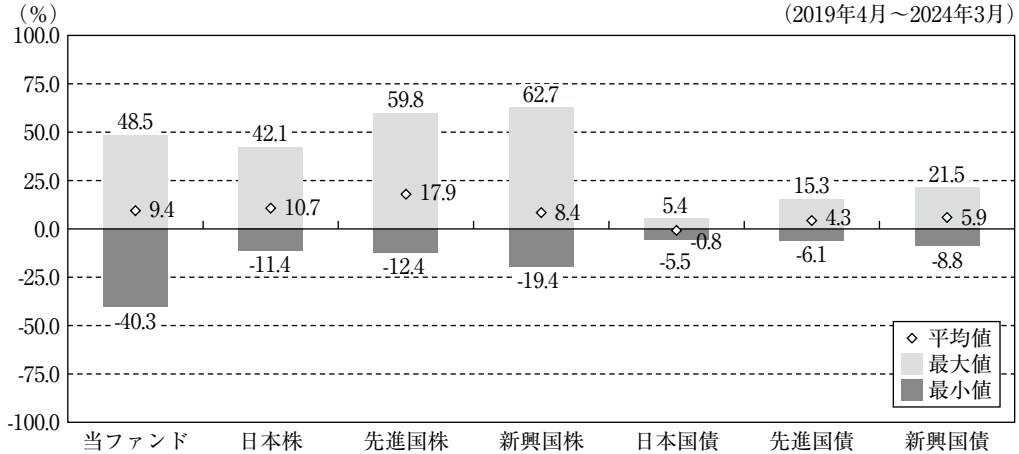
＜BGF USダラー・ショート・デュレーション・ボンド・ファンド＞

当ファンドは、引き続き主に米ドル建ての短期の投資適格債に投資することで、トータル・リターンの最大化を目指した運用を行う方針です。

◇当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	無期限（設定日：2006年4月26日）
決算日	4月1日および10月1日（ただし休業日の場合は翌営業日）
運用方針	①主として「ブラックロック・グローバル・ファンズ（ルクセンブルグ籍証券投資法人）　ラテン・アメリカン・ファンド　クラスJ投資証券」および「ブラックロック・グローバル・ファンズ（ルクセンブルグ籍証券投資法人）　USダラー・ショート・デュレーション・ボンド・ファンド　クラスX投資証券」（以下各々を「BGF　ラテン・アメリカン・ファンド」および「BGF　USダラー・ショート・デュレーション・ボンド・ファンド」といいます。）への投資を通じて、投資信託財産の中長期的な成長を目標に運用を行います。 ②外貨建資産については、原則為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	「BGF ラテン・アメリカン・ファンド」および「BGF USダラー・ショート・デュレーション・ボンド・ファンド」に投資します。 「BGF ラテン・アメリカン・ファンド」を主要投資対象ファンドとし、その組入比率を高位に保ちます。
運用方法	ブラックロック・グループが運用する、「BGF　ラテン・アメリカン・ファンド」および「BGF　USダラー・ショート・デュレーション・ボンド・ファンド」への投資を通じて、主として、ラテンアメリカ諸国の株式（同地域において重要な事業展開を行っていると考えられる同地域以外の企業の株式を含みます。）に投資し、信託財産の中長期的な成長を目標に運用を行います。
分配方針	年2回の毎決算時（4月1日および10月1日。休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。 ■ 経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益および売買損益（繰越欠損補填後、評価損益を含みます。）等の全額を分配対象額の範囲として分配を行います。 ■ 分配金額は委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。 ■ 留保益の運用については特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。 ※基準価額水準、市況動向等によっては分配を行わないことがあります。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

（参考情報）
◇代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（注）すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
＊上記は、2019年4月～ 2024年3月の５年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。
＊上記の騰落率は直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。
＊当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。
（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。
＊各資産クラスの指数
日本株……東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株……MSCIコクサイ指数（配当込み、円ベース）
新興国株……MSCIエマージング・マーケッツ・インデックス（配当込み、円ベース）
日本国債……NOMURA-BPI国債
先進国債……FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債……J.P.モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

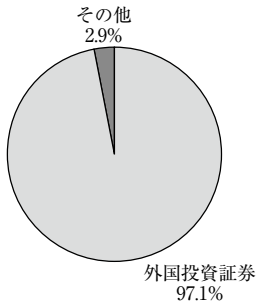
＜各指数について＞
東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有する我が国を代表する指数です。東証株価指数（TOPIX）（配当込み）の指数値および東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に関するすべての権利・ノウハウおよび東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。
MSCIコクサイ指数（配当込み、円ベース）およびMSCIエマージング・マーケッツ・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発、計算した株価指数です。MSCIコクサイ指数（配当込み、円ベース）は日本を除く世界の主要先進国の株式を、また、MSCIエマージング・マーケッツ・インデックス（配当込み、円ベース）は新興国の株式を対象として算出した指数です。同指数に関する著作権、知的財産その他の一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
NOMURA－BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が公表している指数で、日本国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。同指数に関する知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社は、NOMURA－BPI国債の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、NOMURA－BPI国債を用いて行われるブラックロック・ジャパン株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。
FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
J.P.モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが発表しており、新興国の現地通貨建ての国債を対象として算出した指数です。同指数に関する著作権はJ.P.モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属しています。

◇ファンドデータ
■当ファンドの組入資産の内容
○組入ファンド等

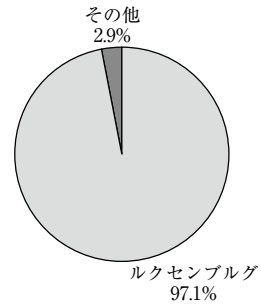
銘柄名	比率
BGF ラテン・アメリカン・ファンド	96.1%
BGF US ダラー・ショート・デュレーション・ボンド・ファンド	1.0
その他	2.9

(注) 比率は第36期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

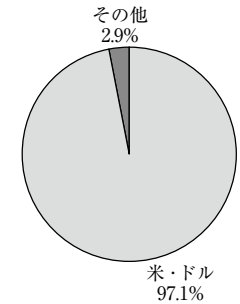
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は第36期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

■純資産等

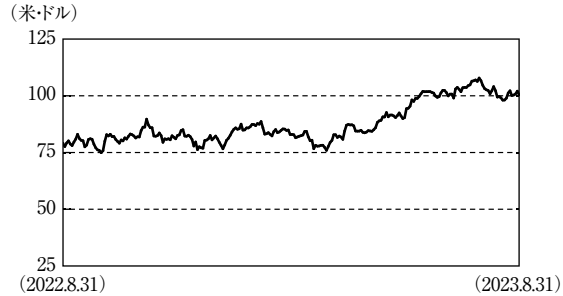
項目	当期末
	2024年4月1日
純資産総額	2,010,298,282円
受益権総口数	1,509,386,708口
1万口当り基準価額	13,319円

＊当期中における追加設定元本額は95,467,640円、同解約元本額は174,322,558円です。

■組入上位ファンドの概要

◆BGF　ラテン・アメリカン・ファンド

○基準価額の推移



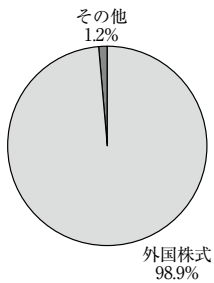
○上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
VALE SA	米･ドル／ブラジル･レアル	9.9%
PETROLEO BRASILEIRO SA PETROBRAS	米･ドル／ブラジル･レアル	9.2
BANCO BRADESCO SA	米･ドル／ブラジル･レアル	5.8
GRUPO FINANCIERO BANORTE SAB DE CV	メキシコ･ペソ	5.8
FOMENTO ECONOMICO MEXICANO SAB DE CV	米・ドル	5.2
WAL MART DE MEXICO SAB DE CV	メキシコ･ペソ	4.7
AMBEV SA	ブラジル･レアル／米･ドル	4.7
B3 SA BRASIL BOLSA BALCAO	ブラジル･レアル	4.2
GRUPO AEROPORTUARIO DEL PACIFICO SAB DE CV	メキシコ･ペソ／米･ドル	3.9
BANCO BTG PACTUAL SA	ブラジル･レアル	3.0
組入銘柄数	40 銘柄	

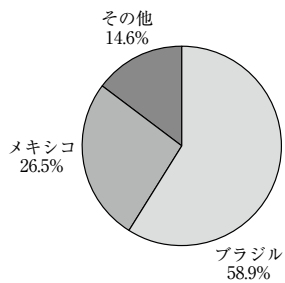
○1万口当りの費用明細

当該情報の取得が不可能であるため記載しておりません。

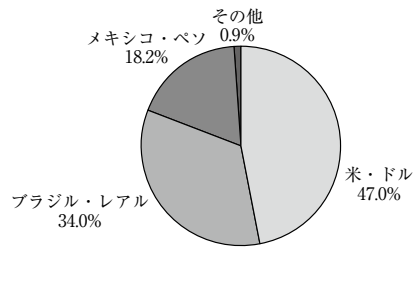
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注1）基準価額の推移は組入ファンドの直近の計算期間のものです。
（注2）組入上位銘柄、資産別･国別･通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
（注3）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
＊当社適時開示資料作成にあたり使用しておりますブラックロック･グループのデータに基づき記載しております。上記ファンドの管理会社が作成しているデータに基づく運用報告書（全体版）の参考情報と相違する場合があります。
＊組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。